

◎市長（山田憲昭君）

新生児の聴覚スクリーニング検査についてお答えいたします。

本市の新生児聴覚スクリーニング検査は、新生児期に先天性聴覚障害の発見を目的として行われる検査で、平成 21 年度から石川県が独自に聴覚障害の早期発見・早期治療のため構築した情報共有システムに沿って実施しております。

初めに、検査の実施状況についてであります。平成 30 年度の受診率は 99.1%、平成 31 年度は 12 月末現在で 99%という高い受診の状況となっております。

次に、受診勧奨についてであります。未受診者に対しては、健診や相談の機会を利用して、御家庭でできる耳の聞こえと発達のチェックリストを用いて経過を確認し、必要に応じて医療機関への受診勧奨を行うことといたしております。

次に、この検査に対する公費助成についてであります。県内の医療機関で実施をされている検査は主に 2 種類あり、そのうち国が推奨している ABR 方式による検査の受診者が約 2 割で、残りは OAE 方式となっております。検査の精度管理上で、OAE 方式は課題があると考えており、公費助成につきましては、国が推奨する検査方式での推移を見ながら、検討していきたいというふうに考えております。